

シンフォニー



116号 令和3年4月1日
社会福祉法人 七恵会
第三長上苑 発行

「新規学卒者家族懇親会」を開催して

当法人では毎年この時期に、4月に新卒採用する職員のご家族様と法人の管理者、役職者が懇談する場を設けています。今回はコロナ禍で感染の不安がある中、開催を迷いましたが、ご家族様のご理解とご協力なくしては新卒者の皆さんに、長く働いていただくことはできないとの思いから、今回は参加人数の制限等を見直し、感染予防対策に万全を期して開催いたしました。

当日はご多忙にもかかわらず9名のご家族様のご参加をいただきました。懇親会では理事長の挨拶、法人の概要説明、人材育成の取り組み等の説明を行ないました。参加していただいたご家族の皆様は、熱心に聞いてくださり、その後施設見学と説明を行ない、懇談の時間を設けました。

ご家族様からは「介護の仕事が務まるかと思っていましたが、本日のお話を聞いて手厚く指導していただけることが理解でき、安心しました。」「法人の皆さんにここまで支えていただけるのなら、仕事が辛いと弱気になった時には家族の立場として、仕事が続けられるよう励ましていきたい。」とのお言葉をいただきました。

全国調査によれば介護職の離職の一番の原因は、職場の人間関係といわれています。新卒者が職場の人間関係で悩まないような職場環境を提供していくことが、管理者をはじめ役職者の役割だと感じています。それと同時に先輩職員も新人職員を育てることは、自らを成長させることであると考えます。先輩としての自覚を持って、良い手本となるよう期待しています。



また、理事長は挨拶の中で「長く法人で働いていただけるようにしていきます。」と力強く述べました。私はこの言葉を重く受け止め、立派な介護職員、さらには立派な社会人となるよう、施設一丸となって育てていかなければならないと思いました。

施設長 水谷秀夫

新型コロナウイルスに関するお知らせ

浜松市では新型コロナウイルスのワクチン接種の準備が進められています。具体的な摂取期日は未定ですが、詳細がわかり次第、ご家族の皆様にお伝えいたします。

市内では以前に比べれば、感染者数の減少傾向はみられるものの、大きな病院でのクラスター、変異株ウイルスのクラスターの発生が報告され、まだまだ予断を許さない状況です。

そうした状況の中、当施設では面会の制限を継続させていただいています。ご家族の皆様と入居者の皆様には、寂しい思いをさせてしまい申し訳ありません。直接面会の制限（通常的面会は中止）は、このまま続けさせていただきますが、オンライン面会、窓越し面会は予約制をとり、引き続き実施してまいります。

この先、新型コロナウイルスの終息に目途がつけば、通常的面会を再開したいと考えています。それまでは申し訳ありませんが、感染予防のための面会制限へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。面会につきましては、気軽にお電話でご相談ください。

外国人職員とともに働く

日本国内の介護における人材不足は喫緊の課題となっていますが、当法人では積極的に外国人職員を受け入れ、現在第二長上苑では6名の外国人職員が掃除、食器洗いや入浴介助等の補助として働いています。

日本の生活、文化、習慣など戸惑いのある中で、「介護」の仕事に関わるのは初めての方ばかりでしたので、言葉は通じるだろうか、入所者様から受け入れていただけるかなど、さまざまな不安もありましたが、一生懸命関わる姿勢が伝わり、入所者の皆様からも「今日は〇〇さんお休み?」「〇〇さんに頼みたいんだけど。」など、嬉しい言葉をいただけるまでになりました。

ありがたいことに外国人職員の皆さんが、「ここにいるのが楽しい。」「ありがとうと言ってもらえて嬉しい。」と言って生き生きと働いています。

言葉の伝わりにくさや介護技術を身につけていくことなど課題は残されていますが、一緒に働く日本人の職員も仲間として、指導もして、支えにもなって、役職者も含め皆が工夫して、働きやすい職場作りに取り組んでいきたいと思えます。外国人職員の成長を温かく見守っていただきたいと思えます。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

課長補佐 益田八千代

家族会のご案内

令和3年4月24日（土） 10:00～11:00

令和3年4月29日（木） 10:00～11:00

第二長上苑 1階 多目的室
介護報酬の改定 他

・詳しくは、同封の書面を、または気軽にお電話でお尋ねください。

4月の行事食 たけのご飯とにぎり寿司

4月は「たけのご飯」と「握り寿司」を提供いたします。

4月 5日（月） たけのご飯

春先、地面から芽の出かけているものを「たけのこ」として食用にしています。たけのこは、切り取るとすぐえぐみが急激に増加しますので、掘り採ってから時間が経つほど固くなるとともに、えぐみが強くなるので、極力早いうちに調理や「あく抜き」などを行う必要があります。冷蔵すると味・香りの劣化を遅らせることはできますが、やはり早いほど美味しく食べることができます。

春ならではの自然の恵みをご賞味ください。



備蓄食品の試食

3月9日には、東日本大震災から10年の節目を迎える3月ということで、防災に対する意識をさらに高めるため、災害時用の備蓄食品を入所者の皆様に試食していただきました。苑には1日3食で3日分が常時備蓄されています。非常食の賞味期限や保存状態など厨房で厳しく管理しています。

味については、様々な意見をいただきました。「いつものご飯のほうが美味しいなあ。」と仰る入所者様がとても多く「味がうすい気がする。」などの厳しい意見や、「簡単に食べれて便利だねえ。」と好意的なお言葉もいただきました。非常食に多くを期待してはいけないかもしれませんが、凶らずも厨房を預かるグリーンハウスの食事の美味しさに改めて気づく結果となりました。

これからも災害に強い施設を目指し努力してまいります。



非常食セット



救急バッグ AED

AEDと救急バッグ

第三長上苑の1階ホールのエレベーターの近くに「AED と救急バッグ」が配備されています。

AED（自動体外式除細動器）とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

救急バッグには、包帯、ガーゼ、テープなど応急手当て用のアイテムが入っています。

AED もいざという時、慌てて使えないようでは意味がありません。万一に備えて AED の使い方や救急法を定期的に消防署の救急救命隊員を指導者に招き、勉強会を開いています。

施設の中だけでなく、プライベートでも職員が AED を使い誰かを救うようなことがあれば、それも一つの社会貢献だと考えます。

ゲーム



3月13日（日）の午後は、ゲームを行ないました。引いたカードに書かれた指示通りのことをするというゲームです。

好きな花の名前、野菜の名前、好きな歌手を答えたり、職員と一緒に歌を歌う、向かいの人とじゃんけんをするなど、カードに書かれた指示はいろいろあります。中でも好きな歌手や俳優となると職員とは世代の違いがはっきり出てしまい坂東妻三郎、市川雷蔵、岡晴夫と言われても、職員にはさっぱりわかりません。美空ひばりくらいが限界でしょうか。

「えーっ、あんたら知らんの？ 私らの若い頃、すごく人気があったんだよ。」

「映画をよく観に行っただけど、いい男だったよ。」と思いは尽きません。

コロナ禍で楽しみの少ない日が続いていますが、暖かくなってきた午後のひととき職員と一緒に歌ったり笑ったり、体を動かして楽しい時間を過ごすことができました。

メダカのご寄付

入所者様のご家族様より水槽とメダカのご寄付をいただきました。玄関脇の水槽の中を元気に泳ぐメダカの姿は入所者様や来苑者の方の目を楽しませています。

来苑された際には、ぜひ一度ご覧ください。



4月の行事予定

日	曜日	時間	内容
2	金	15:00	フラワーアレンジメント
6	火	未定	坂の上FC 回診 第二
9	金	14:00	天王病院 回診
12	月	9:00	理美容
13	火	未定	坂の上FC 回診 第二
14	水	10:20	防災訓練
15	木	15:00	経口維持会議
19	月	未定	体重測定
20	火	未定	坂の上FC 回診 第三
23	金	14:00	天王病院 回診
24	土	10:00	家族会
29	木	10:00	家族会
30	金	10:00	自動車文庫

編集後記

新型コロナウイルスに翻弄された令和2年度が終わり、変異株が広がるなかワクチン接種の見通しも不透明なまま新年度を迎えました。入所者様やご家族様に面会制限の継続などさらにご無理をお願いしなくてはならないかと思うと、暗澹たる気持ちになります。

しかし、いつまでも俯いているわけにはいきません。東日本大震災で甚大な被害を受けた皆さんも、悲しみを乗り越えて頑張っています。こういう時にこそ必要なのは、「笑顔」と支え合う「心」ではないでしょうか。

第三長上苑も入所者様の「笑顔」を、大切に、それを支える職員が「心」のこもった介護を続けていきます。

新人職員紹介



3月1日に入職、「幸」ユニットに配属になりました上中（うえなか）友妃子です。入所者様のご希望に添った明るい介護ができるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。

